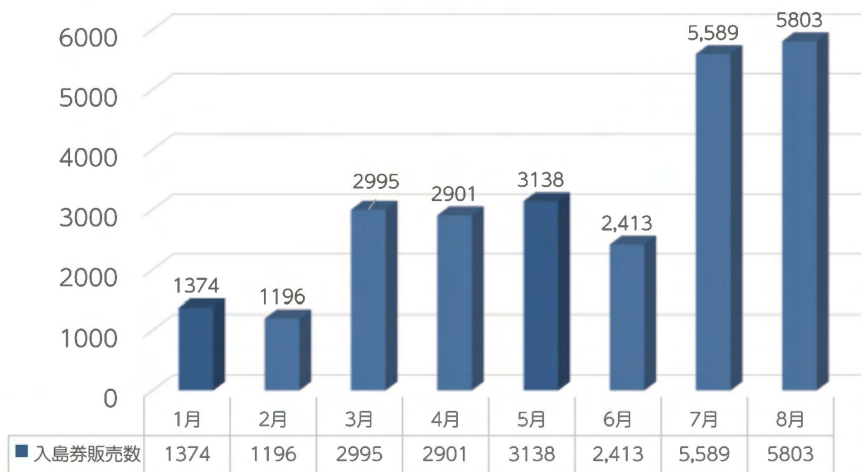


06 2022年入島料収受実績

2022年1月～の入島料収受実績は下記ようになります。7月からの観光客増加とかりゆし館に設置した専用カウンターにより若干の回復傾向を見せておりますが、相変わらず収受率10%前後と大変厳しい収受実績となっております。
今後とも周知拡大に向けたご協力をよろしくお願いします。

入島券販売数



お知らせ

財団ホームページより令和3年度の年次報告書をご覧ください。財団3年目の活動報告や決算概要、島内賛同事業所 / 入島券販売取扱事業所一覧などがご覧いただけます。財団のホームページより「財団について」→最下部「プレスリリース」からダウンロードできますので是非ご覧ください。

竹富島 財団



一般財団法人

竹富島地域自然資産財団

〒907-1101

沖縄県八重山郡竹富町字竹富 207-1

TEL:0980-85-2800 FAX:0980-85-2801

MAIL:info@taketomijima.okinawa

竹富島地域自然資産財団 季刊誌

てーどろん JOURNAL

ジャーナル

2022.Sep. Vol.12.



© Maehara Motoo

竹富島では、そんなに遠くない昔。
あまり便利とは言えないけれど
自然体で暮らせる心豊かな時代がありました。

私たちは入島料で、島がいつの間にか失ってしまったもの、
忘れてしまったものを取り戻すべく活動を進めてまいります。

01 旧与那国家住宅の石垣修復

財団で管理をしている旧与那国家住宅で、グック（石垣）2箇所が崩落したため、修復作業を行ないました。研究者や竹富町役場、教育委員会、集落支援員など多くの方が集まり松竹昇助さん指導の元、石をひとつひとつ積み上げていきます。「野面積み」と呼ばれる伝統的な工法はセメントや鉄筋などを一切使用せず自然のまま積み上げるため、崩れても全ての素材を再利用することができる超 EC0 な建築技術です。「石と語り合いながら積む」ことを念頭に形状や色合いにも注意を払いながら、約4時間で修復が完了しました。



02 ウッドチップの配布

財団では大山栄一さんから寄贈いただいたウッドチップパーを活用し、週に1度、外来種であるギンネムをウッドチップ化しています。ウッドチップには雑草が繁殖するために必要な光を遮り、木材に含まれる窒素成分が雑草の生長を妨げる効果があります。頑固な雑草には、防草シートを敷いてからウッドチップを上を撒けば、さらに効果がアップします。ただし、湿気の多い場所や暗い場所に敷く場合は虫が発生しやすくなるので注意が必要です。以上を踏まえた上でお庭や畑で試してみたいという方は財団までお気軽にお声がけください。



03 粟の収穫と脱穀



粟の収穫から脱穀までを行いました。ここ数年はカメムシによる被害が多かったのですが、今年は雨が強く降ったことで被害を避け、例年よりも多くの粟が収穫できました。脱穀は機械と手作業をくり返し行い、きれいな黄色の粟粒が出来上がりました。

04 入島証明書 販売カウンター



竹富東港「かりゆし館」に入島料の案内を行える専用カウンターを設置しました。カウンターでは入島料をお支払いいただいた方を対象に入島証明書の発行と返礼品のお渡しをしています。不定期実施ですが、出来る限り直接声を届られる機会を増やしていきます。

05 港ゴミ箱についてのお願い

かりゆし館テラスに設置しているゴミ箱の一年の分別ゴミ袋数（町指定ゴミ袋）を算出しました。7月は約100袋8月は昨年同月の3倍以上の約150袋と大変なことに。また、中には蛍光灯など明らかに観光客から出されたゴミではないものも混入されています。港のゴミ箱は入島料で維持されており、ゴミ袋の交換や運搬、分別等、日常的に財団理事や協力隊、支援員で行っているのですが、入島料自体の低徴収と作業負担の大きさからゴミ箱の維持が難しくなっています。ゴミの削減のため、島外から持ち込んだゴミは出来る限りお持ち帰りいただくことや入島料の案内などを観光客の皆さまへお声がけ頂けるようご協力をお願いいたします。

